

# 囲碁入門講座通信 令和3年第41号



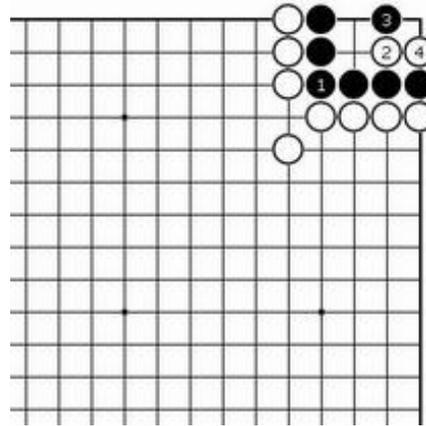
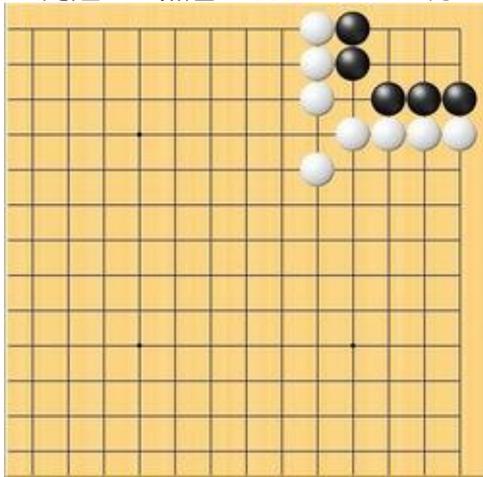
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在休局中**です。  
(棋士名は碁に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号は入門者用にヨセ問題をご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)

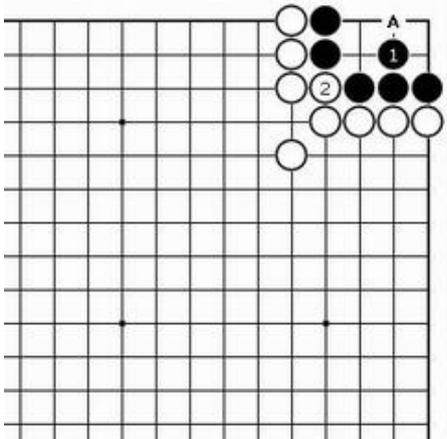
**逆転するもされるもヨセ次第** アマの級位者や低段者はヨセを軽視する傾向があります。実戦では、ヨセの巧拙で20目くらいは差がついてしまうことに気がついていないのです。ヨセには死活が絡むこともあり、対応を誤ると石が死んで即投了ということになります。ヨセが強くなるだけでも、1~2級は強くなれるでしょう。

**ヨセ問題1 黒番** どう守るのが得ですか。 **ヒント** 黒1はお手伝いの手。黒はダメが詰まったため、白2から4で死んでしまいます。

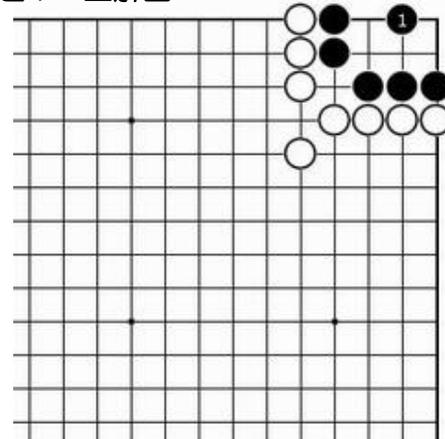


## 正解と解説

問題1 失敗図



問題1 正解図



黒1には白2で、次に白Aと打たれるとコウになりますから、黒はすぐに手入れが必要です。黒地は4目になり、次の正解図に比べて1目の損です。

黒1ならダメが詰まっても手入れは不要で、黒地は5目になります。たった1目の損でも、あちこちで損を重ねれば、たちまちコミ分が吹っ飛びます。ヨセは死活が絡みますから、注意が必要です。